





新年のごあいさつ  
長岡市長 磯田 達伸

明けましておめでとうござい  
ます。謹んで新年のお慶びを申し上げ  
ます。

連合中越の皆様におかれましては、日頃から勤労者の地位  
向上や福祉の充実のため、積極的に事業に取り組まれること  
も、行政や関係機関との橋渡し役としてご尽力いただき心  
から感謝申し上げます。

特に、連合中越をはじめとする関係団体の皆様が運営する  
新潟県ライフサポートセンターでは、専門家と連携して、労  
働や心の悩みなど生活に寄り添った相談支援を実践されてお  
ります。直近一年間でも約500件の相談が寄せられていて、何  
れ、今後も勤労者のよりどころとして、一層の支援を期待し  
ております。

物価高に伴う実質賃金の減少が続くなか、期待される最低  
賃金の引き上げにつきましては、近隣地域との格差を解消  
し、労働力の流出に歯止めをかけるため、市としても地方最  
低賃金審議会に対し、引き上げを要請してまいります。あわ  
せて、中小企業の最低賃金の引き上げに伴う「業務改善助成  
金」等、国の助成制度の拡充などについても、ハローワーク  
などと連携して、活用を広く促してまいります。

長岡市では、働く場の創出や女性活躍の推進と多様性(ダ  
イバーシティ)の確保など、誰もがいきいきと働き、輝くこ  
とができる取り組みを進めてきました。

昨年7月、「米百俵の精神」が息づく国漢学校跡地に「米百  
俵プレイス ミライ工場」の西館がオープンしました。ミラ  
イ工場を人材育成と産業振興の拠点として、市内4大学  
高専が持つ知識と人材、ものづくり企業の集積を活かし、多  
くの人が交流する中で、イノベーションが次々に生まれるよ  
うな活力あるまちづくりを推進してまいります。さらに、操  
業が続々と始まっている「長岡北スマート流通産業団地」で  
は、団地内で1000人の雇用を想定しており、雇用の創出  
と定住人口の増加につなげてまいります。

昨年9月からは、ライフスタイルに合わせて働きたい求職  
者と企業をマッチングするシステム「ながおかマッチボック  
ス」を稼働いたしました。デジタル技術を活用して、手軽に  
求職が可能な仕組みを導入し、子育て世代や、高齢者等が、  
自分のペースに合わせて柔軟に働くことができる就業機会を  
提供してまいります。併せて、220社を超える企業が参加  
する「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」を通じて、  
長時間労働の見直しや育児・介護との両立ができる労働環境  
の整備等を市全域に展開し、働き方改革のさらなる促進を  
図ってまいります。

長岡市は引き続き、連合中越の皆様とともに勤労者が安心  
して働くことができる環境を整えてまいりますので、本年も  
市政にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
結び、本年が皆様にとりまして、健やかで実り多い年にな  
りますことを心から祈念し、新年のあいさつといたします。



新年のごあいさつ  
見附市長 稲田 亮

新春を迎え、謹んで新年のお慶び  
を申し上げます。

連合中越の皆様におかれましては、日頃より勤労者の地位  
向上や福祉の充実に向け、様々な取り組みを進められている  
こと、深く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、  
コロナ禍からの回復に向けて動き出した年でした。市内で  
も、見附今町・長岡中之島大風合戦や見附まつりが4年ぶり  
に通常開催され、地域コミュニティや市民団体・グループな  
どによってイベントが再開されるなど、まちに活気が戻りつ  
つあります。

さて、全国的な人口減少・少子高齢化は、地方でその動向  
が顕著であり、見附市も例外ではありません。しかしなが  
ら、「新潟県のご真ん中」「交通の便が良い」「産業立地が  
進んでいる」「コンパクトなまち」などの見附市の特性をい  
かせば、人口減少を少しでも食い止め、将来に向かって持続  
可能で元気なまちにしていくと確信しています。

その鍵となるのは、次世代を担う若者や子育て世代です。  
彼らが「住み続けたい」「戻ってきたい」「新たに住みた  
い」見附市を目指していかなくてはなりません。

昨年7月には、天候に関係なく子どもたちが遊び、学べる  
屋内施設「プレイラボみつけ」が開館しました。中学生以下  
の乗車を無料化したコミュニティバスとともに、多くの子ど  
もたちに利用していただいております。他にも、子育てしや  
すい職場づくりを行う企業への支援もスタートしました。現  
在進めている「子ども・子育て条例(仮称)」と合わせ、行  
政・地域・企業が一体となって子育て世代を支えていく気運  
を高めてまいります。

もちろん、子育て世代だけでなく、あらゆる世代や境遇の  
市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりも大切です。地域  
医療については、昨年4月に小児科・内科・心療内科の3医  
院を市内に誘致しました。防災面においても、高齢者・障  
がい者などの要支援者を対象とした避難訓練をはじめ、国や県  
と共同で弾道ミサイルを想定した訓練や原子力防災訓練を実  
施するなど、地域の防災力向上に努めているところでは、他  
にも、定例記者会見の頻度も月1回に増やし、二月には見附  
市公式LINEアカウントを新設するなど、市民に伝わる情  
報発信にも力を入れております。

市長に就任してから2年が経ちましたが、これまで続けて  
きた「ふれあい懇談会」では、さまざまな立場の市民の皆様  
と意見を交わしてきました。新年も引き続き、いただいた意  
見を踏まえ、市職員ともコミュニケーションを密にしつつ、  
ボトムアップでの施策づくりを進めていきます。見直すこと  
ろは臆せず見直し、時代と地域のニーズにあった取り組みに  
積極的かつ果敢にチャレンジして、「暮らし満足No.1」のま  
ちの実現に向けて、着実に歩みを進めてまいります。  
結び、新年が皆様にとって幸多き素晴らしい年となりま  
すことを心よりお祈り申し上げ、新春のごあいさつとさせ  
ていただきます。

2024ながおか ワーク&ライフセミナー  
第1講座 2月20日(火) 考えよう!「子どもの権利」  
第2講座 2月22日(木) 映画上映「あしたの少女」  
第3講座 2月24日(土) ノウフクで運営する「福祉市民体験農園OasisR」  
第4講座 2月26日(月) 性暴力・性虐待を許さない社会をつくるためのワークショップ  
第5講座 3月2日(土) 知的障害・発達障害に由来する感覚や気持ちの疑似体験  
参加費 無料 先着順 問い合わせ・申し込み先

連合見附支部だより  
第18回見附支部定期総会が12月2日(土)に割烹太田家にて開催され、5単組から代議員が出席しました。  
坂爪支部長の挨拶から始まり、来賓の連合中越地域協議会 五十嵐副議長をはじめ新潟県議会議員 小泉勝様 見附市議会議員 佐々木志津子様、同じく見附市議会議員 樺澤直純様、新潟県労働金庫長岡支店長 松嶋英一様、こくみん共済coop中越支所長 西埜彰子様、連合見附支部顧問 岩淵勝衛様 よりご祝辞と激励の言葉を頂きました。  
2023年度の活動、決算、会計監査について報告し承認を頂いた後、2024年度の運動方針、会計予算、役員の新体制について審議を行い承認を頂きました。  
最後に坂爪支部長の音頭による団結ガンバローにより総会を締めくくりました。  
総会后、昨年度は開催できなかったレセプションを開催しました。



あけましておめでとうございます  
ろうきん  
ろうきんプラザ長岡は 土曜 日曜 も相談ができます!  
土曜日曜 9:00~17:00  
ろうきんプラザ長岡  
〈ろうきん長岡支店内〉長岡市呉服町1丁目3番地35 ☎0258-33-0222

謹賀新年  
謹んで新春をお祝い申し上げます  
旧年中は格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました  
本年も変わらずご愛顧を賜りますよう  
よろしく願い申し上げます  
こくみん共済  
新潟推進本部  
(新潟県総合生活協同組合)